

親子の学び応援講座



〈目的〉 本県における家庭教育の推進に向けて、湯川村立湯川中学校 PTA を対象に講座を行い、親子の学び・家庭での実践活動を支援する。

湯川村立湯川中学校 P T A における講座の様子

- ◆とき 令和4年12月10日(土)
- ◆ところ 湯川村立湯川中学校 理科室・技術室・1、2、3年教室(リモート)
- ◆参加者 115名(生徒、保護者、教職員)
- ◆講演 演題：スマホ、ネットと上手につきあうために
講師：会津大学短期大学部 産業情報学科 教授 中澤 真 氏

1 <テーマ設定の理由及び実践活動のねらい>

- (1) スマホやインターネット利用時の危険性や注意点について理解する。
- (2) ネット依存の危険性やネット上に氾濫するウソの情報、有害情報から身を守るために、生徒、保護者自身がどのような点に注意すべきかについて、動画視聴しながら今後に生かす。
- (3) 情報を発信する側になった場合、個人情報の漏洩やネットの向こう側にいる姿の見えない相手とコミュニケーションをする場合の危険性について理解する。

2 <講演の要点>

- (1) 詐欺(さぎ)やお金に関わるトラブル
 - インターネットには、便利なものも悪質なもの(うそのもの)も両方ある
- (2) LINE や SNS の危ない使い方
 - 文字だけのコミュニケーションは感情が伝わりにくいのでトラブルになりやすい
- (3) インターネットで発信してはダメな情報
 - 写真には行動パターンを特定される情報がたくさんある
- (4) 生活リズムの乱れ(ネット依存)
 - 「ゲームをする時間がない」と感じたら危険信号!



参加者の感想から

【生徒】

- ネットに対しての向き合い方が分かり、とてもためになりました。また、無料アプリなどの言葉に騙されないようにネットを使用していきたいと思いました。
- 自分が言われても大丈夫な言葉でも、相手に取っては嫌だと感じることもあるので、気をつけてメッセージを送りたいと思いました。
- 自分の現状と講座の内容を照らし合わせて、生活を見直し、ネットの使い方を改めようと思いました。

【保護者】

- ネット依存の危険性を認識できました。時間を決めてやるのが一番いいと思いますが難しいので、家族でルールを決める会議を開こうと思います。
- 「言葉の受け取り方は、一人一人違う」という内容は、その通りだと思うので、絵文字などを入れながら気持ちを伝えていこうと思いました。

